

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	国際学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価(2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2010年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価			
		2010	2011	2012	2013
1. 「教育・研究上の目的」に基づいた「学位授与方針」を、「履修の手引き」に明示する。	→ 1. 指標：「学位授与方針」を「履修の手引き」に明示したかの有無 評価基準：掲載した…評価A、掲載していない…評価D	D			
2. 「教育・研究上の目的」に基づいた「教育課程編成の基本的な考え方」を、「履修の手引き」に明示する。	→ 2. 指標：「教育課程編成の基本的な考え方」を「履修の手引き」に明示したかの有無 評価基準：掲載した…評価A、掲載していない…評価D	A			
3. 「教育・研究上の目的」、「学位授与方針」および「教育課程編成の基本的な考え方」を、入試広報誌「空の翼」に明示することにより社会に公表する。	→ 3. 指標：「教育・研究上の目的」、「学位授与方針」および「教育課程編成の基本的な考え方」を、入試広報誌「空の翼」に掲載したかの有無 評価基準：掲載した…評価A、掲載していない…評価D	D			
4. 毎年度、教授会にて、「教育・研究上の目的」、「学位授与方針」および「教育課程編成の基本的な考え方」の適切性について懇談する。	→ 4. 指標：当該年度における教授会の懇談（「教育・研究上の目的」、「学位授与方針」および「教育課程編成の基本的な考え方」の適切性について）の有無 評価基準：実施した…評価A、実施しなかった…評価D	A			
		☆			
2011年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2010	2011	2012	2013
	→				
	→				

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目6.1.1	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
	(方針明示の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input type="radio"/> 明示している <input checked="" type="radio"/> 明示していない
	(学位授与方針) (説明) 2011年6月教授会にて国際学部学院授与方針を決定予定である。
★ 小項目6.1.2	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
	(方針明示の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 明示している <input type="radio"/> 明示していない
	(方針) 国際学部のカリキュラムは、「国際事情に関する課題の理解と分析」という教育上の目的を実現するために問題発見解決能力、多文化共生能力、倫理的価値観、言語コミュニケーション能力 の養成を主眼として構成されています。これらを身につけるために、1、2年次は国際理解、世界理解についての入門的科目、基礎的科目で幅広く学び、3年次から演習に所属して「北米研究コース」「アジア研究コース」を選択し自らの研究を深めていきます。また、1年次から4年次を通して、前述の3つの学問領域を複合的に学びます。 (説明) 履修の手引きに、「カリキュラムの基本理念」を明示している。
小項目6.1.3	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
	(周知・公表の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 周知・公表している <input type="radio"/> 周知・公表していない (説明) 入試広報誌「空の翼」に、教育・研究上の目的、教育課程編成の基本的な考え方を掲載した。学位授与方針は、2011年6月教授会にて決定予定であるため2011年5月1日現在未掲載である。
小項目6.1.4	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
	(検証の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 検証している <input type="radio"/> 検証していない (説明) 2011年4月教授会にて「教育・研究上の目的」および「教育課程編成の基本的な考え方」の適切性について懇談を行った。「学位授与方針」については5月教授会にて懇談し6月教授会にて決定する。
その他	

《評価指標データ》

カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
必修・選択ごとの開設授業科目数
系列別卒業必要単位数

★ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目6.1.1	
★ 小項目6.1.2	履修の手引きに「カリキュラムの基本理念」を明示している。
小項目6.1.3	
小項目6.1.4	2011年4月教授会にて、「教育・研究上の目的」および「教育課程編成の基本的な考え方」について懇談し、その確認を行うことができた。
その他	

《次年度に向けた方策(1)》伸ばさせるための方策 注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目6.1.1	
★ 小項目6.1.2	学生への周知を充実させるため、引き続き「履修の手引き」に「カリキュラムの基本理念」を明示する。
小項目6.1.3	
小項目6.1.4	教授会の懇談としては、「教育・研究上の目的」および「教育課程編成の基本的な考え方」について教授会構成員が年度初めに確認することができた。ただし、その適切性についての議論があまり深まらなかったため、次年度は予め執行部で論点を整理した上で懇談を行う。
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価 (2)】改善すべき事項		注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。
小項目6.1.1	「学位授与方針」を設定する。	
小項目6.1.2		
★小項目6.1.3	「学位授与方針」を入試広報誌「空の翼」に掲載する。	
小項目6.1.4	「学位授与方針」について教授会で懇談する。	
その他		

《次年度に向けた方策(2)》改善方策		注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。
小項目6.1.1	2011年6月教授会にて決定する。	
小項目6.1.2		
★小項目6.1.3	2011年6月教授会にて決定した後、入試広報誌「空の翼」に掲載する。2012年度版は既に校了しているため、次回は2013年度版の掲載を目指す。	
小項目6.1.4	「学位授与方針」については5月教授会にて懇談し6月教授会にて決定する。	
その他		

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】	
★その他 (自由記述)	

Ⅲ. 学内第三者評価

＜評価専門委員会の評価＞

【学外委員】

○進捗状況は必ずしも順調というわけではありませんが、「改善方策」は適切に策定されているので、確実な実施が望めます。

【学内委員】

○「教育・研究上の目的」、「学位授与方針」、「教育課程の編成・実施方針」(カリキュラムの基本理念)の明示化や公表に取り組む姿勢に積極性が感じられます。

○学位授与方針を定める予定とのことですが、スケジュール通りに定め、HPに公表することを期待します。また、教育課程の編成・実施方針については、履修の手引きにて明示しているとのことですが、HPでの公表も必要です。

○学位方針は教育課程の編成方針や学生の受け入れ方針の元になるものです。方針を設定され、検証されていくことが望めます。なお、大学基準協会は、下記のとおり学位授与方針と教育課程の編成・実施方針を設定することを基盤評価としています。

○現在ではホームページでの各種公表が大前提であり、欠かすことの出来ない最優先の手段です。大学基準協会の基盤評価でもホームページ等とされていますので、両基準ともホームページでの公表が重要です。これについて言及してください。

【大学基準協会：評価に際し留意すべき事項】

○小項目6.1.1

基盤評価：「課程修了にあたって修得しておくべき学習成果、その達成のための諸要件(卒業要件・修了要件)等を明確にした学位授与方針を、理念・目的を踏まえ、設定していること」

達成度評価：なし

○小項目6.1.2

基盤評価：「学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法などに関する基本的な考え方をまとめた教育課程の編成・実施方針を設定していること」

達成度評価：なし

○小項目6.1.3

基盤評価：「公的な刊行物、ホームページ等によって、教職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対して、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針を周知・公表していること」

達成度評価：なし

○小項目6.1.4

基盤評価：なし
達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている」

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★○学位授与方針は2011年6月教授会、教育課程編成方針は2011年7月教授会にて決定した。今年度中にHPに公表する。本内容については次年度の報告にて記述する。